

市政レポート
 彦坂 和子
 尾関 宗夫
 渡邊 智史

日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。
シャツトル
 [発行] 日本共産党一宮市委員会 JCP一宮

2020年 7月
No. 736
 発行：日本共産党一宮市委員会
 TEL 45-5424 Fax 45-5347
 一宮市八幡2-13-30

6月市議会に関する内容について 彦坂和子

★議案質疑をした(6/9) 内容の一部を紹介します。

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

【質問】 全国で1兆円のうち、一宮市への配分(8億4273万円余)は、国はどのような基準で決めたのか？

【答弁】 自治体の人口、財政力指数、特定警戒都道府県の区域内か、保健所の有無など、国の定める基準に基づき算定されたものです。

【質問】 国の第二次補正予算が審議中だが、今後についての考えは？

【答弁】 国の予算成立後、示される取り扱い等を踏まえて、詳細が分かり次第、使い道についてけんとうしていきます。

* 第二次補正予算成立で、この交付金が2兆円追加され、一宮市への交付限度額は23億9946万4千円となりました。(6/24)



○雇用調整助成金申請支援金について

【質問】 対象者、申請人数の予定、実績は？

【答弁】 対象者は市内に事業所があり、「雇用調整助成金の特例措置」の支給決定を受けた、市税の滞納がない中小企業者です。申請数は400件を想定しています。ハローワークによれば、5/26現在市内の支給申請件数は167件とのこと。



○一宮市学校給食会給食材料費補填金について

【質問】 予算概要で、主食等に係る費用を補填するとあるが、「主食等」とは何か？

【答弁】 ごはん、パン、麺、牛乳を指します。

【質問】 予算の算定根拠は？

【答弁】 主食は、全国学校給食連合会が全国一律に示した基準に基づきます。牛乳は、愛知県学校給食牛乳協会が示した基準に基づきます。

【質問】 4月5月も休校だったが、その分はどうなるのか？

【答弁】 現時点では未定です。



○みんなの制服プロジェクト委員報酬について

【質問】 これまでの経緯は？

【答弁】 令和元年11月に中学1・2年生全員と保護者にアンケート調査実施、令和2年1月全19中学校の代表生徒、保護者、市長等の参加の「夢サミット」を開催しました。アンケートを基に意見交換し、生徒からは詰め襟やセーラー服で困っている等の意見が出されました。

【質問】 委員会での協議内容の予定は？ 子どもたちの意見を聞く機会はあるか？

【答弁】 保護者へのアンケート実施やシンポジウム企画など、今後の方針決定のため協議をしていきます。子どもたちにはアンケート、シンポジウムを通じて意見を聞いたり、委員会への参加機会を設け、一緒になって議論を深めていく予定です。

【質問】 今後の方向といつまでに決定するのか？

【答弁】 現段階では方針が決定してはいませんが、もし新制服に変更するとしたら、令和4年4月からの実施を目安に協議を進めていきたいと考えています。



○特別定額給付金事業について

【質問】 委託業者名は？

【答弁】 給付金システムの構築、世帯情報等のデータ抽出含めた印刷業務は、株式会社日立システムズ中部支社に委託しています。電話受付、申請書の受付・審査業務、給付に係るデータ入力等を株式会社近畿日本ツーリスト中部 中部地域交流部に委託しています。

【質問】 契約内容のうち、個人情報の取り扱いについては？

【答弁】 2つの委託業者に対しては、契約書の中で「個人情報取扱特記事項」を定めています。仕様書「条例等の遵守」の項目で「一宮市個人情報保護条例」等を遵守するように定めています。



★閉会日(6/23) 請願書の採決結果について

全ての請願書が、委員会で「継続審査」を求める意見が多数でしたので、閉会日には「継続審査」について賛成、反対の採決となりました。

- ・ 請願書第5号 所得税法56条の廃止を求める件 賛成30、反対7
 - ・ 請願書第3号 国民健康保険税の引き下げを求める件 賛成31、反対6
 - ・ 請願書第6号 75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する件 賛成31、反対6
- 採決に参加するのは全議員38人のうち37人。(議長は採決に加わりません。)

* 全ての請願書は、賛成多数で「継続審査」となりました。

新型コロナウイルス感染症に関する懇談を実施

日本共産党一宮市委員会では、3月4・5日、4月23と3回にわたり、新型コロナウイルスに関する申し入れを行ってきました。6月26日に新型コロナウイルス感染症の申し入れ内容に関して、一宮市と懇談を行いました。

日本共産党一宮市委員会からは、新型コロナウイルス感染症の第一波でも休まず働くエッセンシャルワーカー全般の待遇改善を求めました。

健康づくり課・病院事業部との懇談では、PCR検査の充実や医療・介護・障害・福祉など現場の経営と職員の賃金や待遇の改善などを要望しました。

新型コロナ感染症の状況について

市民病院は感染症指定医療機関で6床、新型コロナウイルス感染症検査陽性の方の受け入れを行っていたがGW明けには全員退院しており、現在は受け入れ患者はない。現在でも外来で一日何件のPCR検査を行っているが、ピーク時に比べると大きく減っている。

全体としてGW明けから落ち着いてきており、防護具の備蓄等行い、第二波に備えたい



PCR検査に関して

発熱外来実施機関は3か所あるが、PCR検査希望の対応は保健所が窓口。唾液でのPCR検査を整備する方向だが、公費で実施する観点から、保健所を通す形での検査となる。

市民病院の状況

新型コロナウイルス感染症拡大に対応し、4月中旬から1病棟を新型コロナウイルス感染症対応のため確保した。6月からは通常病棟に戻している。病床確保や外来減少の影響もあり、大幅な減収となっている。愛知県が収支の調査を行っている。

日本共産党一宮市委員会からは、医療・介護・障害・福祉などの職場の経営を支え、現場の職員の頑張りに応える賃金や待遇の実現などを県や国に要望して欲しいと伝えました。



保育課との懇談では、公立・民営問わず、3密の回避や感染防止対策や経営を守れる様にしてほしいと伝えました

保育現場の状況

5月までは平均して出席率30%だったものが、6月に入り85%と例年並みとなっている。5月までの欠席日数に関しては次月の利用料で精算している。「三密」回避等感染防止に向け、各保育園で工夫がなされていて、その工夫を保育課から発信して共有している。6月からの通常保育に向け、子どもの健康チェック表記入の協力等をお願いしている。5月までは職員に有休扱いでのリモートワークもお願いした。等の報告がありました。

日本共産党一宮市委員会からは、「三密」回避には抜本的な施設増の検討が必要であること、民間の状況もしっかりつかんでほしい、エビデンスも活かして指導を行ってほしいなどの要望を伝えました。

日本共産党一宮市委員会からは、彦坂和子市議、尾関宗夫地区副委員長、市民運動部長渡邊智史など4名が参加しました。

一宮市の中核市移行の延期を求める陳情について、愛知県議会で口頭陳述を行いました。

渡邊智史が、6月19日に提出した「一宮市の中核市指定の延期を求める陳情書」に関して、6月30日に愛知県議会で口頭陳述を行いました。陳情項目は唯一「新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、一宮市の中核市移行の同意について慎重に審議し、延期を求めます。」というのですが、口頭陳述では次の3点を指摘しました。

- ① コロナ感染症が収束しておらず、職員研修など移行に十分な準備を行っていないこと
- ② 同規模の県内中核市に比しても財政力が低い一宮市が、移行後の保健所整備の費用負担・保健所運営に係る人材の確保を行う必要があること
- ③ 市の財政が厳しい中での中核市移行財源は一層市民負担の増加、市民サービスの低下につながること

一宮市の中核市移行に関する同意の議案は、愛知県議会の総務企画委員会での他の議案と共に一括採択となり、全委員の賛成で一宮市の中核市移行について同意する内容で採択されてしまいました。



(わたなべさとし)

